

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 79

28. 1.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505

第56回 市民芸能まつり



小千谷民踊 子さくら会

平成26年6月、当時保育園児の一人の女の子が、民踊サークルに「教えて」とやって来たのが、発足の出発でした。現在は3歳～14歳までの19人が、週1回（4月～12月）のお稽古をしています。その時間の中で、日常生活での礼儀作法と言葉遣いや、お互いを思いやる心を育むこと、郷土芸能の伝承が大切と考えて活動しています。

目標は、夏に東京都で開催される予定の「少年少女みんなよう全国大会」に全員で出場することです。

- 第4回定例会議決結果 … P 2
- 常任委員会報告 …… P 3
- 一般質問 …… P 4～7
- 行政視察報告 …… P 8～9
- 議会日誌 …… P 10
- 雪あかり、編集後記 …… P 10

— 主な掲載内容 —

この市議会だよりは再生紙を使用しています。

第 4 回 定 例 会 議 決 結 果 (12 月 3 日 から 12 月 22 日 ま で 開 催)

議案番号等		議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第55号	小千谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定	賛成多数	原案可決
	議案第56号	小千谷市税条例の一部改正	//	//
	議案第57号	小千谷市入湯税条例の一部改正	//	//
	議案第58号	小千谷市国民健康保険税条例の一部改正	//	//
	議案第59号	小千谷市民の家条例の一部改正	全会一致	//
	議案第60号	小千谷市介護保険条例の一部改正	賛成多数	//
	議案第61号	小千谷市障害者支援センターさつき工房条例の一部改正	全会一致	//
	議案第62号	小千谷市ガス供給条例の一部改正	//	//
	議案第63号	小千谷市マウントパーク鏡池条例の廃止	//	//
予 算	議案第64号	平成27年度小千谷市一般会計補正予算 (第3号)	//	//
	議案第65号	平成27年度小千谷市介護保険特別会計補正予算 (第2号)	//	//
	議案第66号	平成27年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	//	//
	議案第67号	平成27年度小千谷市ガス事業会計補正予算 (第1号)	//	//
	議案第68号	平成27年度小千谷市水道事業会計補正予算 (第1号)	//	//
	議案第69号	平成27年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算 (第1号)	//	//
	議案第70号	平成27年度小千谷市下水道事業会計補正予算 (第1号)	//	//
そ の 他	議案第71号	小千谷市の公の施設 (住民センター) の指定管理者の指定	//	//
	議案第72号	小千谷市の公の施設 (吉谷トレーニングセンター) の指定管理者の指定	//	//
	議案第73号	小千谷市の公の施設 (総合福祉センター) の指定管理者の指定	//	//
	議案第74号	小千谷市の公の施設 (地域福祉センター及び克雪管理センター) の指定管理者の指定	//	//
	議案第75号	小千谷市の公の施設 (障害者支援センターさつき工房) の指定管理者の指定	//	//
	議案第76号	小千谷市の公の施設 (真人ふれあい交流館) の指定管理者の指定	//	//
	議案第77号	小千谷市の公の施設 (総合産業会館サンプラザ及び錦鯉の里) の指定管理者の指定	//	//
	議案第78号	小千谷市の公の施設 (駐車場) の指定管理者の指定	//	//
	議案第79号	新潟県市町村総合事務組合規約の変更	//	//
	議案第80号	第五次小千谷市総合計画基本構想	//	//
選 挙	議選第7号	小千谷市選挙管理委員及び同補充員の選挙 〔選挙管理委員：勝又武氏、関隆太郎氏、大塚幸夫氏、小野塚朋子氏〕 〔選挙管理委員補充員：新保賢氏、丸山君子氏、羽鳥義郎氏、櫻井英樹氏〕	/	当選
発 議	発議案第7号	ヘイトスピーチ等を規制する法整備を求める意見書	全会一致	原案可決

議 員 賛 否 の 状 況 (採 決 に お い て 賛 否 が 分 か れ た も の)

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安康一	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	上村行雄	内山博志	佐藤隆一	長谷川有理	阿部正行	久保田陽一	山賀一雄	田中淳	本田剛	久保田久栄	風間順一
議案第55号	原案可決	12	3	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○
議案第56号	//	12	3	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○
議案第57号	//	12	3	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○
議案第58号	//	12	3	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○
議案第60号	//	12	3	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	○

※○は賛成、×は反対、議長 (久保田久栄) は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案15件のうち13件は総務文教委員会単独で、2件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第55号 小千谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について

本案は、小千谷市における個人番号の利用及び特定個人情報の提供等に関し、その適正な取り扱いを確保するために必要な事項を定めるものです。

○議案第56号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は地方税法等の一部を改正する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律（以下「番号法」）の一部が施行されることに伴い、改正するものです。

○議案第57号 小千谷市入湯税条例の一部を改正する条例の制

定について

本案は、番号法の施行に伴い改正するものです。

○議案第59号 小千谷市民の家条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、市民の家の改築に伴い、施設の設置目的のほかに必要な事項について改正するものです。

○議案第62号 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、石油石炭税の特例税率が増額され、ガス卸価格に上乘せられることから、ガス料金を改正するものです。

○議案第63号 小千谷市マウンtopパーク鏡池条例を廃止する条例の制定について

本案は、施設の老朽化等により、維持が困難となり、平成28年3月31日をもって廃止するものです。

○議案第64号 平成27年度小千谷市一般会計補正予算(第3号)について

今回の補正は、歳入歳出それぞれ81億63万7千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ17億5億63万9千円とするものです。

○議案第67号 平成27年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第

1号)について

○議案第68号 平成27年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第69号 平成27年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号)について

○議案第70号 平成27年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について

以上の4議案は、いずれも職員の仕事に伴う人件費の補正をするものです。

○議案第71号 小千谷市の公の施設(住民センター)の指定管理者の指定について

○議案第72号 小千谷市の公の施設(吉谷トレーニングセンター)の指定管理者の指定について

○議案第76号 小千谷市の公の施設(真人ふれあい交流館)の指定管理者の指定について

以上の3議案は、いずれも指定管理者の指定期間の満了に伴い、再指定するものです。

○議案第80号 第五次小千谷市総合計画基本構想について

本案は、第四次小千谷市総合計画の計画期間が満了することから、小千谷市の基本構想策定等に関する条例の規定により、市議会の議決を求めるものです。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案10件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第58号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、番号法の施行に伴い、関係する条文を改正するものです。

○議案第60号 小千谷市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、番号法の施行に伴い、保険料の徴収猶予、保険料の減免及び保険料に関する申告に個人番号を追加するものです。

○議案第61号 小千谷市障害者支援センターさつき工房条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、指定管理者に行わせる業務の一部改正するものです。

○議案第65号 平成27年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

○議案第66号 平成27年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

以上の2議案は、いずれも職員の仕事に伴う人件費の

補正をするものです。

○議案第73号 小千谷市の公の施設(総合福祉センター)の指定管理者の指定について

○議案第74号 小千谷市の公の施設(地域福祉センター及び克雪管理センター)の指定管理者の指定について

○議案第75号 小千谷市の公の施設(障害者支援センターさつき工房)の指定管理者の指定について

○議案第77号 小千谷市の公の施設(総合産業会館サンプラザ及び錦鯉の里)の指定管理者の指定について

○議案第78号 小千谷市の公の施設(駐車場)の指定管理者の指定について

以上の5議案は、いずれも指定管理者の指定期間の満了に伴い、再指定するものです。



市政の内容を聞く 一般質問

図書館行政と 18歳選挙権主権者教育

阿部 正行 議員

図書館行政について

質問 図書館の役割について。

教育長答弁 市民の知識教養はもちろん、読書を通じて人を育み、生涯学習や文化創造をする事である。

質問 各小中学校と市立図書館の関係について。

教育長答弁 それぞれの役割があるが市立図書館には地域の資料等があり、また違った本との出会いや情報に触れられる。

質問 癒しの空間確保について。

教育長答弁 くつろぎと潤いはとても大切であり今後検討する。

質問 公共施設のおもてなしは。

教育長答弁 小千谷市職員接遇ガイドブックにより徹底を図っているが、研修等を通じて育成



小千谷市立図書館

する。

18歳選挙権主権者教育について
質問 選挙権年齢の引き下げの認識について。

教育長答弁 主権者教育は、児童生徒にとって選挙は身近になるので今まで以上に重要になる。

質問 出前講座開催について。

教育長答弁 県選挙管理委員会とは各市町村と連携し実施しているが、高校については今後検討する。

質問 教職員の取り組みについて。

教育長答弁 社会科で学習するが政治的中立を堅持しつつ児童生徒に正しく理解させるよう指導する。

質問 小中高校の児童・生徒会選挙は。

教育長答弁 児童会長選挙はない。中学、高校はあり、希望すれば選挙の際の記載台の貸し出しをする。

質問 選挙管理委員会と教育委

員会の連携について。

教育長答弁 県では出前授業を実施しており今後連携を図っていく。

質問 若者の政治参加について。
教育長答弁 選挙年齢引き下げにより主権者教育、出前授業がなお一層重要であると考ええる。

インター駐車場と胃がんリスク検診に関して

森本 恵理子 議員

高速道路小千谷インター付近駐車場整備に関して

質問 駐車場の需要はあるが、専用駐車場がなく、総合体育館への誘導案内を行っている。整備の必要性を認識しているか。

答弁 必要だと認識している。

質問 整備を実現する場合、起こりうる課題と対策について。

答弁 用地の確保など多額の費用が必要。東日本高速道路株式会社と協議を進めており、補助金活用も考えながら検討したい。

質問 胃がんリスク検診導入について

答弁 小千谷市のガン罹患率2位は胃がんである。その原因の8割はピロリ菌感染による。日本人の保菌率は2人に1人と言われており、除菌により胃がん

患者を減らすことができる。採血で簡単にできる胃がんリスク検診の導入が必要だと考えるが見解を伺う。

答弁 死亡率減少効果の科学的根拠が十分ではないという国・県の見解に従い、現時点で導入は考えていない。

質問 ピロリ菌は上下水道の未整備に原因があると言われていて。現在では新規感染はほとんど見られず、家族からの口移しの食事などで5歳以前に経口感染に至る。感染期間の短い若い頃に除菌することで胃がん発

生率を大幅に減らすことができ。新規に感染する可能性が少なく、正確に検査ができ、また除菌の効果も出る中学生への胃がんリスク検診を導入すること

で将来の小千谷市の胃がん患者をゼロに近づけることができると考えるが見解を伺う。

答弁 中学生への検査導入は当面考えていないが、引き続き有効な予防・検診方法について研究したいと考えている。

除雪・高齢者支援 支援員制度の今後

駒井 和彦 議員

質問 当市の現在の除雪支援の取り組みを今後どのように維持・発展させていくか。

答弁 作業会員の確保のための募集広報と、利用者の利便性向上を考えていく。

質問 民間独自の取り組みについて、支援・協力を考えているか。

答弁 市民の安心・安全に繋げるため、連携できることを主に意見交換したい。

質問 市として率先してこのような市民団体の設立を進めては。

答弁 先行する市民団体と意見交換し、課題整理等検討したい。



質問 山間地冬場の高齢者支援にシエアハウスを整備しては。

答弁 地域の方々、関係機関と総合的支援策を検討したい。

質問 ネットショッピングによる高齢者の買い物支援について、総務省の補助制度を利用してはどうか。

答弁 平成28年度に協議体を設置し整備を進めていく予定。

質問 復興支援員制度終了後も同様な組織の設置を望むが。

答弁 集落支援員制度の活用等を行い、地域自立に向け何らかの支援を行っていく。

質問 総合戦略に記載の市民協働センターはどんな施設か。地域活性化支援の機能が含まれているか。

答弁 施設整備は想定していない。集落支援員制度の活用等により、地域活性化支援センター機能を担う新たな中間支援組織の設置を検討している。

質問 市民協働への今後の市民への働きかけや取り組みは。

答弁 地域活動を担う様々な団体と連携し、講演会、講座、意見交換会等を通じ、引き続き市民への啓発活動を進めていく。

子育て・進学支援、教職員多忙化解消など

長谷川 有理 議員

質問 当市の要保護・準要保護児童生徒率17%を踏まえ、早急に課題分析と対策をすべき。

答弁 ひとり親世帯への自立支援が更に必要。支援事業の周知を図る。ニーズ調査を今後行う。

質問 生活困窮者自立支援制度で学習支援や居場所づくりを。

答弁 こどもの学習支援事業は有効な役割を果たすと理解している。今後検討していく。

質問 県内5市では既に実施されている学習支援の担い手育成や場づくりを。コーディネーター設置や地域の教員OBや学生ボランティア等の活用を。

答弁 具体化すべく検討する。

質問 来年度から障害者差別解消法施行により合理的配慮の基礎的環境整備に向け当市の対応は何か。柏崎市のような市職員対応要領はあるのか。

教育長答弁 今までも人材配置で対応している。職員対応要領作成は前向きに検討していく。

質問 県立高校再編計画を当市はどう捉えるのか。

教育長答弁 大きな影響はない。今後も小千谷の両高校発展に向け、側面から支援していく。

質問 教職員多忙化解消に向けた当市の更なる具体的施策を。

教育長答弁 市教育委員会としても解消に更に努める。ストレッチ制度も実施する。

質問 小千谷学生寮の女子入寮を実現すべき。見学ツアーに女子も多数参加。近年の県内大学・看護系進学激増等の状況を鑑みても、経済的支援から女子のみ門戸を閉ざすべきでない。

教育長答弁 心情的には同じ。奨学会の理事会・評議員会に、検討事項として諮りたい。



農業問題、高齢者支援策、義務教育について

田中 淳 議員

質問 今後の小千谷市の農地保全、農業活動を促す上で、全域を対象とする多面的広域協定の考え方について。

答弁 農業者の後継者不足、高齢化とともに、事務処理の煩雑さが活動組織の大きな負担となっている。広域活動組織設立については、農地及び農業用施設の適切な保全管理や農村集落の活性化、農家負担の軽減のため、設立に向け、参加団体の意向を確かめながら、施設面を含めて、早い段階で取り組んでいきたい。

質問 地域医療介護総合確保推進法による高齢福祉政策（介護予防）について。

答弁 制度改正により要支援認定者の訪問介護と通所介護が介護予防給付から地域支援事業に財源が移り、介護予防事業と一体的にサービスを提供する体制に変わった。

現行事業所との協議を進めているところであり、新たに起業する場合の支援は考えていない。また、平成29年4月に実施する日常生活支援総合事業の開始前パイロット事業を実施する考えは持っていない。

質問 来年4月に施行期日を迎える義務教育学校導入の当市の考え方について。

教育長答弁 新制度の義務教育学校におけるカリキュラムでは、

教育特区の認定を受ける必要がなく、校長の方針で柔軟な取り組みが可能となった。南小中学校においては、校舎一体型連携校として特色ある取り組みを行っている中連携をより充実させることが大切と考えている。



中山間地棚田

図書館と市民の意見要望と免許証自主返納

住安 康一 議員

質問 子どもの読書活動に関して推進してきた事業の評価は。

教育長答弁 様々な事業を展開。移動図書館などで成果がある。課題としては、家庭での読書の推進や中高生生の利用の増加。

質問 中学生、高校生の図書館離れに対する取り組みについて。

教育長答弁 若者向けジャンルの充実。勉強スペースの確保。

書籍の情報発信に努める。

質問 高齢者や障がいのある方に読書を推進するための方策と「障害者差別解消法」への対応について。

教育長答弁 今まではハード面が主であり、ソフト面が不十分。法への対応は、何ができるか検討したい。

質問 図書館充実のための様々な提案。

教育長答弁 ブックスタート事業は、現在実施する方向で検討している。雑誌スポンサー制度、調べるコンクール、書籍消毒機導入、読書通帳は、検討したい。



質問 市民提案箱の制度をどのように感じているか。

答弁 市民と行政の協働がますます重要になる。様々な意見を取り入れるために必要な手段。

質問 提案箱の提案に対し、市の考え方をホームページで公開を。

答弁 内容により公開したい。

質問 意見や要望など口頭や電話でも受入、返信、公開のしく

みが必要ではないか。

答弁 担当課できちんと対応している。可能であれば、書面での提案を。提案者の立場に立った対応を行うように努める。

質問 運転免許証の自主返納時の特典実施に対する市の考えは。

答弁 導入は行わない。

小千谷の基幹産業の振興について

大矢 弘光 議員

質問 市内基幹産業である鉄工電子業の振興に対して、行政がどのような支援を行うべきか、何ができるのか。

答弁 まずは制度融資の継続が必要。また産学連携コーディネートナーを配置し、大学等研究機関との連携を推進する。そして、国内・海外市場への販路拡大を図るための支援を行うとともに、企業の設備投資に奨励措置を講じて事業規模の拡大を支援する。

質問 小千谷で働きたい人と地元企業をつなぐにあたり、現在どのような問題・課題があるか。

答弁 地元企業を知ってもらうこと、質の高いマッチングが重要と考える。そのために義務教

育時からのキャリア教育が大切である。また、地元出身学生に対する就職セミナー等を継続して実施。3月に首都圏学生対象の地元企業見学バスツアーに合わせ就職ガイダンスを開催予定。

質問 企業に対する高齢者就労支援について。

答弁 就労意欲のある高齢者が、経験・能力を生かし地域社会に貢献されることは意義深く、今後企業に対して働きかけていく。

質問 鉄工電子業を地域ブランドとして、どのように情報発信していくのか。

極小精度（1000分の1ミリ・1ミクロン）の谷（バレー）として、シリコンバレーならぬ『ミクロンバレー小千谷』というキャッチフレーズを提案する。

答弁 技術継承と人材育成が、技術の小千谷ブランドを確立・継続させていくものと確信する。今後小千谷商工会議所と連携合及び小千谷鉄工電子協同組合及び小千谷商工会議所と連携し、共通した意識のもとでの情報発信を支援していく。



TPP、農業者支援、入札、介護保険について

内山 博志 議員

質問 TPP「大筋合意」は。

答弁 農業の所得減少や多面的機能維持が懸念される。政府は、早急に十分説明する必要がある。

質問 TPP批准に反対すべき。

答弁 国会で決めるべき。

質問 一般農家に農機具購入などで支援が必要ではないか。

答弁 個人財産になり不適切。

質問 新浄水場建設工事入札について、競争原理が働かなかったのではないか。

答弁 入札参加資格と予定価格を公表し、広く募集した。応札が1者でも競争原理は働いた。

質問 地元業者への発注のため、分離発注は検討しなかったのか。

答弁 新浄水場建設工事は総合調整力が必要。接続管工事は可能な限り地元に出したい。

質問 事前の予定価格の公表は控えるべきではないか。

答弁 事前、事後公表それぞれメリット、デメリットがある。社会情勢、他自治体の動向を見て、必要に応じ対応したい。

質問 介護保険改定で介護サ-

ビス事業者の声は聞いているか。

答弁 「緩和した基準によるサービスの内容と単価について、事業所の運営の立場でも十分検討してほしい」等の要望を聞いている。協議の参考にした。

質問 要支援1、2は介護保険給付適用除外となった。利用料が上がり利用が控えられ、重度化が懸念されるが対応は。

答弁 地域支援事業に移行されても、利用料が上がることはないよう考えていきたい。

質問 介護保険利用の相談では、要介護認定申請権侵害にならないよう専門家が当たるべき。

答弁 チェックリストでの振り分けは、専門家が行う。



小千谷市の観光振興と誘客について

上村 行雄 議員

質問 台湾での観光商談会における成果や課題と、今後の外国人旅行者の誘客について。

答弁 観光商談会では、現地旅行会社15社に観光PRを行いましたが、スキーや雪を利用したイベントへの関心が高く、「おぢや風船一揆」にも興味を持っていただいた印象があり、当市の魅力を発信し、誘客に努めたいと考えます。

質問 外国語版観光PRリーフレットの配布先及び活用方法について。

答弁 錦鯉の里とサンプラザ、ちぢみの里にて配布しています。活用方法については、旅行会社への観光商談会やスキー場に近接するホテルや旅館などに置いていただき、活用したいと考えております。

質問 錦鯉の里のリニューアルについて。

答弁 平成26年度に錦鯉会館の展示物や写真、モニター画像の一新などを行っております。ファンになっていただくため、錦鯉関係者と効果的な誘客促進について検討してまいりたいと考えます。

質問 そなえ館と小千谷市産業開発センターとの連携について

答弁 誘客に関する連携と来場者の動線や販売スペースなど検討と協議を重ねてまいりたい。

質問 テーマを絞った観光モデルコースの構築について。

答弁 国内外からの旅行者へのニーズに応じることができ、歴史や自然・地場産業などを生かした市内観光ルートの設定に努め、旅行者の満足度アップと小千谷市の魅力アップにつなげたいと考えております。



おぢや震災ミュージアム そなえ館

小千谷市子どもを守る地域連絡会について

佐藤 隆一 議員

質問 「子どもの社会的擁護」についての市長の基本認識を伺います。

答弁 保護者のいない児童や養育困難な家庭に対して支援を行うことであり、積極的に推進す

べきものと考えています。

質問 相談件数、内容は。

答弁 年間250件のうち30〜40件は児童虐待に関するもので、ここ数年増加傾向にあり、内容も複雑化しています。



質問 個別管理台帳へ実際の登録数と具体的な対応について伺います。

答弁 現在、個別に対応が必要なケースは15件あり、育児放棄などが増加し、また、支援も長期化しており、児童相談所の助言も得て対応に当たっています。

質問 里親を増やし、子ども課を設置する考えがあるか伺います。

答弁 里親に関する業務は児童相談所管轄業務であり、子ども課の設置については、市の行財政規模に合った効率的組織を目指して検討していきます。

質問 平成16年の児童福祉法改正に伴って県と連携し見守る体制に移りました。里親を増やすことについて、県の事務として済ませていいものでしょうか。見解を求めます。

答弁 要保護児童の養育については、これまでもいろいろ庁内で検討は行っており、お任せでいいとは思っておりません。

小千谷市の克雪対策事業について

久保田 陽一 議員

質問 市長就任から1年が経過し、克雪に対する思いや考えは。

答弁 克雪条例や克雪都市宣言の理念と先人が築いてきた本市ならではの貴重な文化・伝統を

答弁 克雪の重要性を考えれば、経済的にも労力的にも市民の負担ができるだけ少ないことに越したことはないが、市の財政運営全般を考えると、経常的経費の抑制に努めなければならぬことを考慮すると、現在の市民と行政の負担のバランスを継続することが適当であると考えられる。新規事業や新たな取り組みについては財源の確保を含めてどのような仕組みで何ができるかを常に考えていきたい。

後世に引き継いでいかなければならないとの思いを強くしている。市民と行政がそれぞれの立場で改善を積み重ね、相互の協力のもとに、より良いものにしていく努力が不可欠であると考えている。市民から当市に住み続けてもらうためには通勤・通学などに雪による支障を出さないようにしなければならず、今年度から可能な限り早朝除雪するように改善を図っている。

質問 市民の負担軽減のために消雪パイプの電気料金を市が全額補助、若しくは5割以上の補助が必要、及び今後の克雪対策事業での補助率アップや新たな制度が必要では。



行政視察 報告

総務文教委員会

平成27年10月20日～22日

空き家等の適正管理に関する条例について

島根県浜田市

全国的に問題となっている空き家・廃屋について、浜田市は空き家等の適正管理に関する条例を全国に先駆け制定し対応している。当市においても人ごとでなく、特に降雪時においては倒壊の危険性が新たに増すこととなる。浜田市における本条例の運用状況や効果・課題を聞いたが、最大の効果は指導の拠り所ができ、緊急措置としてどうしても危機を回避しなくてはならないと判断された場合は、行政代執行が可能であるという点である。また、空き家に関して市民が関心を持つようになったことも特筆すべきことだ。しかし、実際に危険回避済みとなった件数は少なく、その問題の根の深さをうかがわせる。いずれ

にしてもこれから直面するであろう問題である。また、視点を変え空き家となった建物のリノベーションを行い、有効利用することも有意義な政策につながるものと考える。



人口拡大計画について

地域の魅力を高め、
Uターンを促進する施策

島根県益田市

益田市は島根県の最西部にあり、山口、広島両県と接し、北は日本海に面し、南は中国山地が連なる。面積733km²、人口約4万8800人である。本格的な人口減少社会を迎え、自治体が知恵を絞っているが、益田市の「人口拡大への挑戦」を市の最重要施策に揚げて取り組んでいる姿を視察した。人口減少をいかに食い止めるか、難し

い問題であるが、益田市は5年後、現在の予測より3200人多くする計画。注目すべきは各地域が自分の地域の魅力を発信人口拡大に向け活動し元気なまちを目指すところである。人口減少は当市でも死活問題であるが、益田市の取り組みは人口増に向けての知恵の出し合いを見ることができた。



民生産業委員会

平成27年10月26日～28日

自殺対策事業について

福岡県久留米市

自殺者の減少を目指して積極的な取り組みをし、成果を出している久留米市の取り組みを学んだ。久留米市では平成20年から保健予防課精神保健チームが

いさはや灯りファンタジア
について

長崎県諫早市

小千谷市でも中心市街地の活性化が叫ばれる中、諫早市では平成20年に中心市街地活性化基本計画を策定し、いち早く官民連携で商店街活性化に取り組んでいる。そこで、「いさはや灯りファンタジア」を切り口に、①中心市街地の活性化、②イベントの運営体制などを中心に視察を行った。

「かかりつけ医・精神科医うつ病連携システム」である。これらの自殺対策はNHKや西日本新聞でも取り上げられたように、内容のすばらしさを感じた。当市においても、自殺予防対策事業として様々な取り組みが行われているが、国や県よりも自殺率が高い状況で、大きな変化は見られない。人口規模や医療資源の違いはあるが、当市として大きな変化、効果が見られない原因を検証する必要があると感じた。



商店街活性化事業の難しさを感じる。「いさはや灯りファンタジア」の運営ボランティアが400名を超えるという動員力も注目点の一つである。地域の各団体間のコミュニケーションなど、日常的なつながりを重視している点が、諫早市の地域的まとまりを生み出し、動員力を保持できているポイントのようだ。

小千谷市の商店街活性化に関

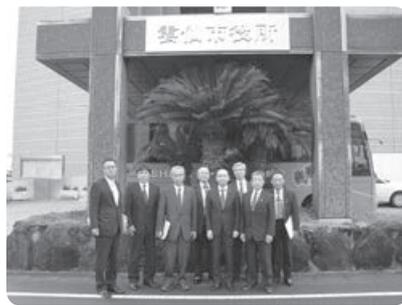
しては、カンフル剤的なイベント事業とともに、日常的な人の流れを構築し、商店街での事業の収益性、継続性を支援する振興策が必要であると感じた。

キラリと光る 雲仙産地支援事業について

長崎県雲仙市

農業を中心とした担い手育成やスキルアップ、経営コスト削減を目的とした農業機械レンタル推進事業などを、平成24年度より4カ年事業として実施し効果を上げていく、雲仙市の「キラリと光る雲仙産地支援事業」の事業実態や、詳細な内容の習得を図ることを目的に、雲仙市にて行政視察を行った。ハード事業補助として、新規就農に対し農業機械や農業施設整備、集落営農機械整備、耕作放棄地の活用促進や特定農産物の振興対策に交付され、ソフト事業補助としては、スキルアップのため先進地や女性農業者を対象とした農業視察研修や、経営コスト削減のため農業機械レンタル事業について交付している。農業を行う中で、経営上大きなウエイトを占めるのが機械設備であり、高額な機械ばかりで農家の

負担はかなりのものがある。そんな中、雲仙市の農業機械レンタル推進事業は大変興味深く参考になった。また、他の支援事業についても、当市にフィードバックが可能かどうか検討・分析し、今後小千谷市の農業の後押しができればと思う。



議会運営委員会

平成27年11月17日～18日

議会基本条例や正副議長選挙等の議会改革・議会運営について

新潟県魚沼市

平成26年4月、議会基本条例を制定し、その中の規定で正副議長選挙について、就任希望者に所信表明をする機会を与えている。議会基本条例の制定に当たっては、会津若松市や上越市

など先進地を調査し、短期間の議論であったが、条例は議会の最高規範であると訴え制定された。議論の過程では、「当たり前なことだ」「がんじがらめになる」等の意見もあったが、議員が背筋を伸ばして議会活動をすることが必要であるとして制定に至った。また、災害時における議会対応として、市の対策本部と連携して、市の災害対策対応を支援するため、災害対策支援本部の設置を定めている。

長野県飯田市

正副議長立候補制については、選挙を行う本会議の日の2日前までに書面で議長（議員改選後は事務局長）に提出しなければならないが、1人の議員が議長及び副議長の両方の候補者にはなれない。また、所信表明演説は、選挙日直前に開催される議員全員協議会で行う（1人5分以内）。自治基本条例制定までの経緯については、住民自治確立のため市民・行政・議会が協働して地方分権時代に対応したまちづくりの拠り所となる条例として、議会が主体となって策定した。この間、検討委員会等での検討を通じ、市民とともに

策定し、議会の諮問機関として設置した全国初の「市民会議」で市民の意見を反映するなどして、平成18年第3回定例会で制定された。自治基本条例による議会運営については、様々な検討課題など議会として方向性を見いだし、意思をまとめ、経過や議決の結果を市民に説明するとともに、重要な政策及び課題に対しては、市民の利益になる立場で政策提言に繋げるために政策立案能力を高めている。

2市の視察を通じ参加者の多くが、当市議会がこれまで培ってきた議会運営のあり方を尊重しながらも、更に一歩進んだ議会改革に取り組み時期ではないかと感じた。



議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

（録画映像は本会議終了後、通常、休日（土日・祝祭日等）を除く5日後から1年間ご覧いただけます。）

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録（平成15年第1回定例会以降）は市ホームページからご覧いただけます。

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

（平成27年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。）

一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

〈10月〉

- 6日 市議会議員と商工会議所 女性会との懇談会
- 9日 議会報編集委員会
- 9日 議会報編集委員会
- 20日 総務文教委員会行政視察 に出発（鳥根県浜田市・益田市）
- 23日 議員協議会
- 25日 東小千谷小学校統合90周年記念式典
- 26日 民生産業委員会行政視察 に出発（福岡県久留米市・長崎県諫早市・雲仙市）
- 〈11月〉
- 4日 民生産業委員協議会
- 5日 埼玉県行田市議会、羽生市議会行政視察に来市
- 6日 中越地区市議会議長会（三条市）
- 9日 議員協議会
- 10日 長野県上田市議会行政視察に来市
- 11日 政友会、新政の風行政視察に出発（石川県金沢市）
- 17日 議会運営委員会行政視察 に出発（魚沼市、長野県飯田市）
- 20日 柏崎刈羽原子力発電所視察（柏崎市）
- 〃 西小千谷地区市街地まわづくり基本計画検討委員会と議員との意見交換会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 全国市議会議長会国会対策委員会（東京都）

27日 総務文教委員会と教育委員会との学校訪問及び市当局との懇談会

〈12月〉

- 3日 第4回定例会（本会議）
- 4日 議会報編集委員会
- 4日 議会運営委員会
- 7日 常任委員会連合審査会
- 7日 総務文教委員会
- 8日 民生産業委員会
- 17日 議会運営委員会
- 17日 本会議（第2日）
- 18日 本会議（第3日）
- 〃 議会報編集委員会
- 〃 議会運営委員会
- 〃 本会議（第4日）
- 〃 議員協議会

市議会を傍聴してみませんか

第1回定例会開催予定

2月29日(月) 第1日(火) 議案審査
 3月1日(火) 第2日(水) 一般質問
 3月15日(水) 第3日(木) 一般質問
 3月16日(木) 第4日(金) 一般質問
 3月18日(金) 最終日

※日程は変更されることがあります。各委員会の日程、団体日程は議会の傍聴に際しては、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



61



佐藤 瑞穂さん (茶畑)

京都から片貝へ遊びに来た友人は、家々に吊るされた雪下ろし用の梯子を見上げ、「花火、屋根にのぼって見るん？」と驚いたように尋ねてきた。

意外なほど詩的なその質問の、答えはノーだが、そんな情景ならばイエスと同意したくもあつた。

ある友人は、小千谷の車道に並ぶ消雪パイプを指して、「新濁の銘酒を醸す地下水の噴水なのだから、とても贅沢なことだね」というようなことをつぶやくこともあつた。

また、お隣の十日町市「大地の芸術祭」期間中の朝早くに国道117号を走っていると、道路沿いの青々とした田んぼの真

ん中に、それこそ目が覚めるような真っ赤な軽自動車が見事に配置されていた。すぐさまアクセルをゆるめ、作品番号の記された黄色い看板を探したが、見当たらなかった。どうやら誤って田んぼに突っ込んだ車両らしかった。

詩人でなくとも、時として目の前の景色が急に鮮やかに感じられる瞬間が、誰にでもある。それはたいてい、日常のなかに隠れている非日常という妖精のせいらしく、見知らぬ土地として訪れる旅人の眼の前にこそ、よく姿を現すようだ。

そして、その妖精か妖怪は、どうやらその土地の者には水のごとく透明に見えてしまうようなのだ。 つかうっかりしていると。



編集後記

明けましておめでとうござい
ます。

昨年4月の市議選において半数の8人が入れ替わり、今までは違う新しい流れが少しずつ起きています。

今定例会においても、市政に
対する一般質問者は11人。農業
問題や雪関連、高齢者の福祉や
観光振興など、25項目にわたり
議論が繰り広げられました。各
委員会においても多くの質疑が
行われ、特に当市の行政運営に
とって最上位計画として位置付
けられる第五次小千谷市総合計
画基本構想についても、活発な
質疑と意見がありました。

本年は申年。故事ことわざに
「見ざる聞かざる言わざる」と
ありますが、私達議員は、市民
の多くの意見をよく聞き、物事
の本質をよく見て、市に対して
しっかりと意見を言っていきた
いと思います。

編集委員 住安康一

